

平成30年度 工事成績優秀企業 局長認定について

1. 背景と目的

国土交通省においては、受注者の適切な選定及び指導育成を図るため、平成13年3月に請負工事成績評定要領を定め、地方整備局が発注する直轄工事において、工事の施工状況や工事目的物の品質等について請負工事成績評定(以下「工事成績評定」という。)を実施しているところです。

平成13年4月施行の「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律(以下「適正化法」という。)では、工事成績評定の結果を原則として公表するなど公共工事の透明性が求められるとともに、平成17年4月に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」においては、公共工事の品質確保にあたり、民間事業者の能力が適切に評価され、それらを一層活用することが求められたところです。

工事成績優秀企業認定は、これらの状況を踏まえ、工事成績評定の透明性確保と民間事業者の技術力の一層の向上を図ることを目的として創設した制度です。

2. 選定方法

工事成績優秀企業は、関東地方整備局(港湾空港部を除く。)において過去2カ年度(平成28年4月1日～平成30年3月31日)に完成した土木工事の工事成績評定結果をもとに、当該工事を受注した企業の工事成績評定点の平均点を算出し、企業の工事成績評定結果のランキングを作成し(但し、過去2カ年に3件以上、下記10業種の土木工事を受注した業者に限る。)、優良工事等選定委員会において審査を行い選定したものです。

■工事成績優秀企業局長認定の対象企業

下記(1)、(2)に該当する工事の実績を3件以上有する企業を対象とし、選定。

なお、(3)に該当する企業については、選定しない。

(1)対象工事

関東地方整備局発注工事で過去2カ年度(平成28年4月1日～平成30年3月31日)に完成した直轄土木工事。

(2)対象工種

工事請負業者選定事務処理要領に規定された21工事種別のうち、下記の10工種を対象とする(※建築、機械、電気通信等は除く)。

- ①一般土木工事、②アスファルト舗装工事、③鋼橋上部工事、④セメント・コンクリート舗装工事、
- ⑤プレストレスト・コンクリート工事、⑥法面処理工事、⑦河川しゅんせつ工事、⑧グラウト工事、
- ⑨杭打工事、⑩維持修繕工事

(3)その他

(1)、(2)に該当する企業でも優良工事等選定委員会の審査により認定にふさわしくないと認められる場合は、選定しない。

3. 選定方針

工事成績評定の平均点が80点以上の企業かつ、工事成績優秀認定企業としてふさわしい企業。

4. 認定される企業数等

番号	会社名	所在地	平均点
1	(株)新井組	兵庫県西宮市	81
2	(株)木下建設	埼玉県白岡市	81
3	東光建設(株)	群馬県吾妻郡長野原町	81
4	松浦建設(株)	千葉県野田市	81
5	(株)横河住金ブリッジ	茨城県神栖市	81
6	阿部建設(株)	千葉県旭市	80
7	(株)安部日鋼工業	岐阜県岐阜市	80
8	荒木建設工業(株)	埼玉県さいたま市	80
9	岡田土建(株)	千葉県銚子市	80
10	(株)加賀田組	新潟県新潟市	80
11	川村建設(株)	埼玉県幸手市	80
12	古久根建設(株)	東京都文京区	80
13	(株)佐藤渡辺	東京都港区	80
14	(株)清水インダストリー	群馬県高崎市	80
15	(株)銭高組	大阪府大阪市	80
16	高橋建設(株)	茨城県行方市	80
17	東康建設工業(株)	茨城県那珂郡東海村	80
18	日東エンジニアリング(株)	茨城県土浦市	80
19	(株)波崎建設	茨城県神栖市	80
20	(株)美才治林業	群馬県吾妻郡長野原町	80
21	古郡建設(株)	埼玉県深谷市	80
22	馬淵建設(株)	神奈川県横浜市	80

5. 認定式

認定式は、関東地方整備局長のほか幹部が出席して、工事成績優秀企業認定された企業22社が出席し、局長から工事成績優秀企業認定書が授与されます。

なお、認定式は「平成29年度優良工事等局長表彰式」と併せて開催します。

6. その他

①認定された工事成績優秀企業は、工事を受注した際には発注者が行う中間技術検査を省略することができます。また、総合評価方式において企業の評価が優位になります。

②「請負工事成績評定の平均点ランキング」については、別紙4のとおりです。